

平成24年 8月31日発行

静岡県

図書館協会

会報 No.62



編集・発行 静岡県図書館協会

静岡市駿河区谷田53番1号
静岡県立中央図書館内

「図書館に関する市民意見交換会」を実施して

静岡県図書館協副会長 保田 藤代
沼津市立図書館長

沼津市では、効率的な自治体経営を目指して、平成22年度より事業仕分を開始しました。図書館は、2年続けてその対象となり、資料整備をはじめとする事業や図書館の管理運営について、市が選任した仕分人や無作為抽出による市民判定人から様々なご意見をいただきました。

このような状況のなか、市民にとってよりよい図書館をめざして市民各層の意見を把握するため、平成23年度に図書館に関する「市民アンケート」とともに、初めての取り組みとして「市民意見交換会」を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

具体的には、無作為抽出した18歳以上約1,000人の方にアンケートを依頼し、その回答者のなかから市民意見交換会の参加者を募り、図書館を利用したことのない方を含めて、広く市民からの提案を求めました。

市民意見交換会では、「(1) より多くの市民が図書館を利用するためには、どのような本を選べばよいのか」、「(2) テーマ(1)以外に利用しやすくするには、何をなすべきなのか」をテーマに、事前配布した資料をもとに、図書館からの現状や課題についての説明後、市民同士による自由なグループ討議と意見集約、討議結果の発表、賛同した意見への投票という流れで実施しました。結論としては、テーマ(1)の「選書」についてのように、いわゆる「価値論」、「要求論」を含めて幅広い選書

をしていくという現状の業務に裏付けをいただいたような部分もありましたが、図書館としてのPR不足へのご指摘など、改善すべき部分へのご提案も多くいただきました。

平成20年度の図書館法改正により、図書館運営に関する評価とそれに基づく改善についての努力義務が定められており、図書館協議会も含めて、広く市民各層の声を図書館評価や運営改善に反映できるよう対応が求められています。

当日の参加者が、当初予定した数より少なかったことは大変残念でしたが、アンケート調査の実施だけでなく、設定したテーマでの市民参加の意見交換会に初めて取り組んだことにより、市民の方々の具体的な要望・考え方を確認させていただくことができたと思っています。

いただいた様々なご意見を真摯に受け止め、図書館運営への反映をめざすとともに、これからの図書館はいかにあるべきかを探りつつ、広く市民に支持されるよう、サービスのさらなる向上に職員一同、取り組んでいきたいと考えています。



保田藤代 館長

平成24年度 総会報告

平成24年度の静岡県図書館協会総会が、4月19日に静岡県立中央図書館で開催され、下記の7つの議案が承認されました。

- 第1号議案 役員承認の件
- 第2号議案 平成23年度 事業報告の件
- 第3号議案 平成23年度 決算報告・会計監査報告の件
- 第4号議案 平成24年度 事業計画の件
- 第5号議案 平成24年度 予算の件
- 第6号議案 社会福祉法人厚生保育会厚生総合図書室の退会申請について
- 第7号議案 静岡県図書館協会会則の改定について

<平成24年度静岡県図書館協会役員>

- 理事 会長 谷野 純夫 (静岡県立中央図書館)
副会長 保田 藤代 (沼津市立図書館)
副会長 大澤 眞明 (静岡市立中央図書館)
佐野 清 (富士宮市立中央図書館)
若杉 保彦 (焼津市立焼津図書館)
戸塚 宏 (菊川市立図書館菊川文庫)
内藤 春好 (浜松市立中央図書館)
石川 光子 (清水町立図書館)
加藤 憲二 (静岡大学附属図書館)
監事 大石 保己 (島田市立島田図書館)
大石 弘美 (掛川市立中央図書館)

※加盟館名簿順

<平成24年度事業計画>

会議・大会

- 理事会 第1回 (4/19) 第2回 (9月初旬・文書による決裁) 第3回 (2/15)
- 総会兼館長会 (4/19)
- 相互貸借担当者会議 (5/11)
- 静岡県図書館大会 (10/29)

研修・視察

- 図書館基礎研修 (5/10)
- レファレンス基礎研修 (5/16・5/24・5/30・6/7)
- 児童・青少年サービス研修 (7/20)
- 大学・専門図書館研修 (8/10)
- 情報サービス研修 (9/5)
- 図書館運営研修 (9/27)
- レファレンス応用研修 (10/5, 予備 10/11)
- 総合研修 (12/5)
- 県外視察 山梨県立図書館 (1/23)

出版

『職員名簿』・『県図協会報No.62』・『県図協会報No.63』・『静岡県図書館大会記録集』

専門委員会

- 資料専門委員会 年3回開催
- 図書館大会運営委員会 年5回開催

<平成24年度予算>

収入総額並びに支出総額3,489,000円の本年度予算が承認されました。

第20回 静岡県図書館大会

～伝えよう図書館の力 広げよう新たな可能性～

- 日時 10月29日(月) 9:50～15:45
会場 グランシップ(静岡市駿河区池田)
日程 9:50～10:30 開会式・表彰式
10:30～10:45 情勢報告
10:55～12:30 ライブトーク
「電子書籍の未来
～電子書籍によって
読書スタイルはどう変わるのか～」
コーディネーター 常世田 良氏
<立命館大学 文学部教授>
パネリスト 植村 八潮氏
<株式会社出版デジタル機構
取締役会長>
谷野 純夫氏
<静岡県立中央図書館長>
13:45～15:45 分科会

- 第1分科会 (図書館サービス)
- 第2分科会 (乳幼児・児童・YA
に対するサービス)
- 第3分科会 (子どもと読書)
- 第4分科会 (図書館とユニバーサル
デザイン)
- 第5分科会 (読書活動)
- 第6分科会 (学校図書館)
- 第7分科会 (大学図書館)

問い合わせ

静岡県立中央図書館 企画振興課・
振興係 TEL 054-262-1246

※参加費は無料です。

※各分科会への申込は、原則として
先着順となります。

申込締切日

10月4日(木)
*第3分科会(西巻茅子氏講演会)
は10月18日(木)

子ども読書活動で

菊川市立図書館と焼津・おはなしのへやが文部科学大臣表彰を受賞

子ども読書活動で菊川市立図書館と焼津・おはなしのへやが文部科学大臣表彰を受賞しました。

文部科学省では、毎年、4月23日を「子ども読書の日」とし、記念事業として“子ども読書活動推進フォーラム”を開催しており、併せて子どもの読書活動優秀実践団体に対する文部科学大臣表彰を行っています。平成24年度は静岡県から、図書館の部で菊川市立図書館が、団体（個人）の部で焼津・おはなしのへやが大臣表彰を受賞しました。

読書の楽しさや大切さを伝えるために 菊川市立図書館

菊川市立図書館では、菊川文庫と小笠図書館の2館が、読書の楽しさや大切さを伝えるためにさまざまな取組を続けています。

平成21年度からは「菊川市子ども読書活動推進計画」の一環として、市立図書館の司書が市内の公立小中学校全12校を巡回訪問し、学校図書館の環境整備や授業補助に当たっています。

また、年齢に応じたサービスが図れるよう、関係機関やボランティアの皆さんの協力のもと、7ヶ月児と保護者を対象にした「ブックスタート事業」、乳幼児家族向けの「012おはなし会」、3才以上からの「すいようおはなし会」、保育園・幼稚園への「出張おはなし会」、新1年生への市立図書館利用者カード発行、小学校への「巡回貸出」、高学

年以上の夏休みボランティア受入などを行っています。

これからもひとりでも多くの子どもが自分だけの一冊に出会い、読書の扉を開くことができるようサービスの充実に努めます。

（菊川市立小笠図書館 主査 鈴木 優子）



菊川市立図書館 司書による小学校でのブックトーク

子どもたちがすてきな本と出会うお手伝いを 焼津・おはなしのへや

旧大井川町の中央公民館図書室で図書館活動が行われていた昭和60年4月、子どもたちとその保護者に読み聞かせや読書の楽しさ、大切さを伝えたいと仲間が集まり、読み聞かせボランティアの活動を始めました。現在は、毎週土曜日の午後に幼児向けの読み聞かせ会、毎月第2・第4火曜日の午前中に乳幼児向けの読み聞かせ会を、焼津市立大井川図書館の絵本コーナーで開催しています。夏休みにはスペシャル版の読み聞かせ会を、12月にはクリスマス会を開催し、手作りの劇なども披露しているほか、秋の読書週間の時期に、小学校の各学級での読み聞かせも実施しています。また、定期的に勉強会を行い、読み聞かせや手遊び等の技術を磨くとともに、積極的に情報交換を行って

います。

子どもたちの真剣なまなざしを活動の原動力として、これからも楽しく活動を続け、子どもたちがすてきな本と出会うお手伝いをしていきたいと思っています。（おはなしのへや 岡村恵子）



おはなしのへや クリスマス会

職員研修報告（公立図書館等職員研修） ※平成24年8月現在（上半期）

例年、県内図書館職員の、専門的資質・能力の向上を図るとともに、県内図書館サービスの向上・発展を目指し、研修を実施しています。

特に、専門研修では、実践的な科学あそびが数多く紹介され、併せて実習も盛り込まれ、好評を博しました。



図書館基礎研修 講義 坂倉 裕子氏

(1) 基礎研修

ア 基礎研修（基礎理論・実務）

期日/会場	平成24年5月10日（木） / 静岡県立中央図書館		
参加人数	105人		
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・「図書館職員の基礎知識」 静岡県立中央図書館 企画振興課長 野島 典子 ・「図書館サービスと著作権」 静岡県立中央図書館 調査課一般調査係 渡辺 勝 ・「～気持ちよく図書館をご利用いただく～接遇とコミュニケーション」 コミュニケーションハウス 坂倉 裕子 氏 		

イ レファレンス研修（基礎）

期 日	平成24年5月16日(水)/24日(木)	平成24年5月30日(水)	平成24年6月7日（木）
会 場 【地 区】	静岡県立中央図書館 【中部地区】	静岡県総合教育センター 【西部地区】	三島市立図書館（生涯学習センター） 【東部地区】
参加人数	24人/13人	26人	24人
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・「初級レファレンス」 静岡県立中央図書館 調査課 一般調査係（高橋 健二、山田 直美、渡辺 勝） 		

(2) 専門研修

ア 児童・青少年サービス研修

期日/会場	平成24年7月20日（金） / 静岡県立中央図書館		
参加人数	62人		
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・「科学あそびの可能性」静岡自然を学ぶ会 代表 池上 理恵 氏 ・「子どもの科学の本を知る」実践女子大学 教授 塚原 博 氏 		

平成24年度 資料専門委員会報告

6月7日、静岡県立中央図書館で、第1回資料専門委員会が開催されました。

資料専門委員会は、静岡県図書館協会加盟館の職員で構成されており、今期は7名の方に委員を務めていただいています。

通常、資料専門委員会は2年にわたって定期的にかかれ、最終的には静岡県図書館大会の分科会で、研究発表を行っています。

これまでの資料専門委員会では、「雑誌の分担保存」や、「資料の除籍基準」など、図書館資料に関するテーマを研究対象としていました。今期の資料委員会では、「電子書籍・電子図書館」に関するテーマを対象に研究を行うことになりました。

今回開催された委員会では、電子書籍の貸出を開始した図書館や、他館のデジタルアーカイブ事業に関する事例などを参考に、公共図書館を取り巻く電子書籍の状況を確認し、意見交換を行いました。

また、昨年度県立中央図書館が中心となり行った「電子書籍関連プロジェクト」の実施報告を参考にし、県内の図書館でどのように電子図書館や電子書籍を進め、利用者へ提供をしていくべきかなどについて話し合われました。

今後は、今回の委員会での意見を踏まえ、次回9月に開催される委員会に向け、県内図書館用SNSなどを利用し、情報交換しながらより詳細な研究内容を決めていく予定です。